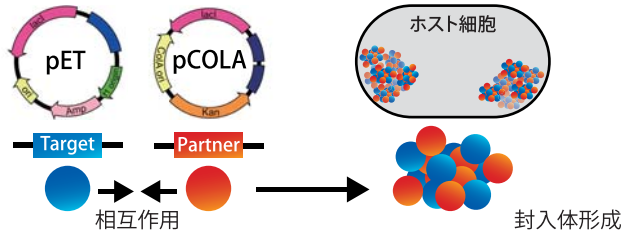


高効率でペプチドを生産する共発現系

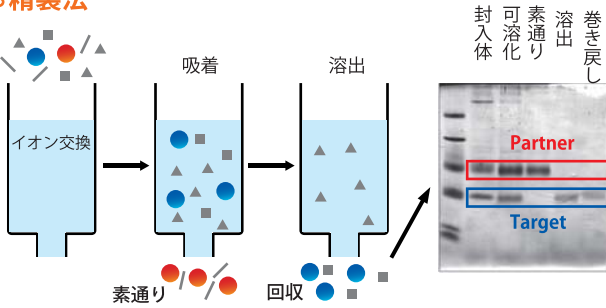
概要

分解を受けやすいターゲットペプチドを、共発現によって安定に生産する方法の開発に成功した。この方法によって、ターゲットペプチドの発現量の増加と精製の簡便化が期待できる。

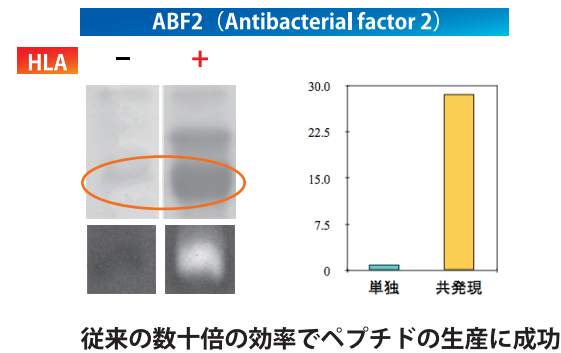
方針



精製法



結果

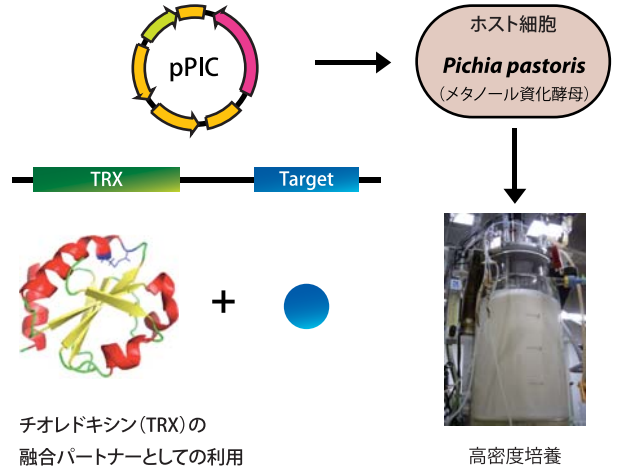


酵母の高密度培養を利用した発現系

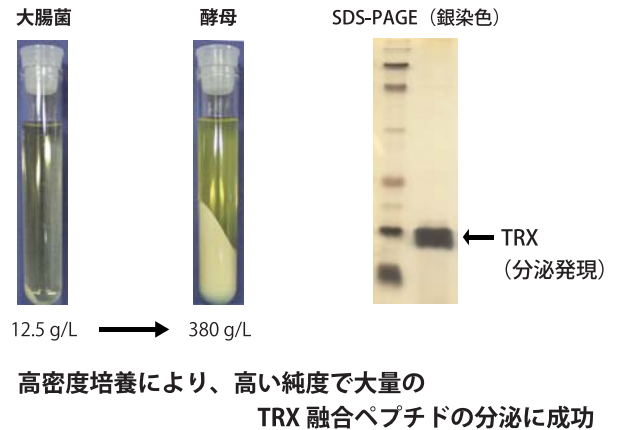
概要

メタノール資化酵母は高密度培養が可能であり、ペプチドの高効率の生産への応用が期待できる。この高密度培養に利用可能な、新しいペプチド融合発現系の開発に成功した。

方針



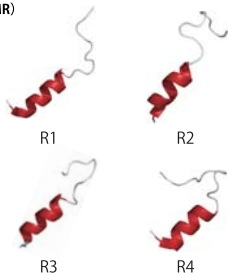
結果



カイコ転写制御因子 FMBP-1



立体構造 (溶液 NMR)

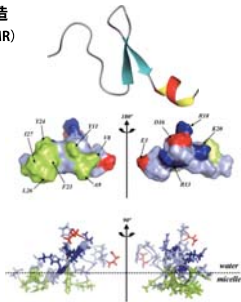


昆虫の産業応用へ

ヨトウガ サイトカイン GBP



立体構造 (溶液 NMR)

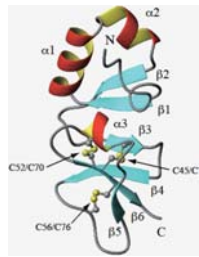


新規農薬のシーズ

カブトガニ抗菌ペプチド BDF



立体構造 (溶液 NMR)

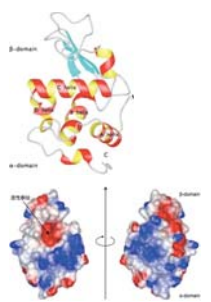


農林水産への応用

ウシ消化酵素 胃リゾチーム



立体構造 (X線構造)



畜産業への有用な情報